

平成 21 年度版

まちで進める

災害時要援護者等避難支援

ガイドライン

平成 22 年 1 月 13 日



鳥羽まちづくり協議会

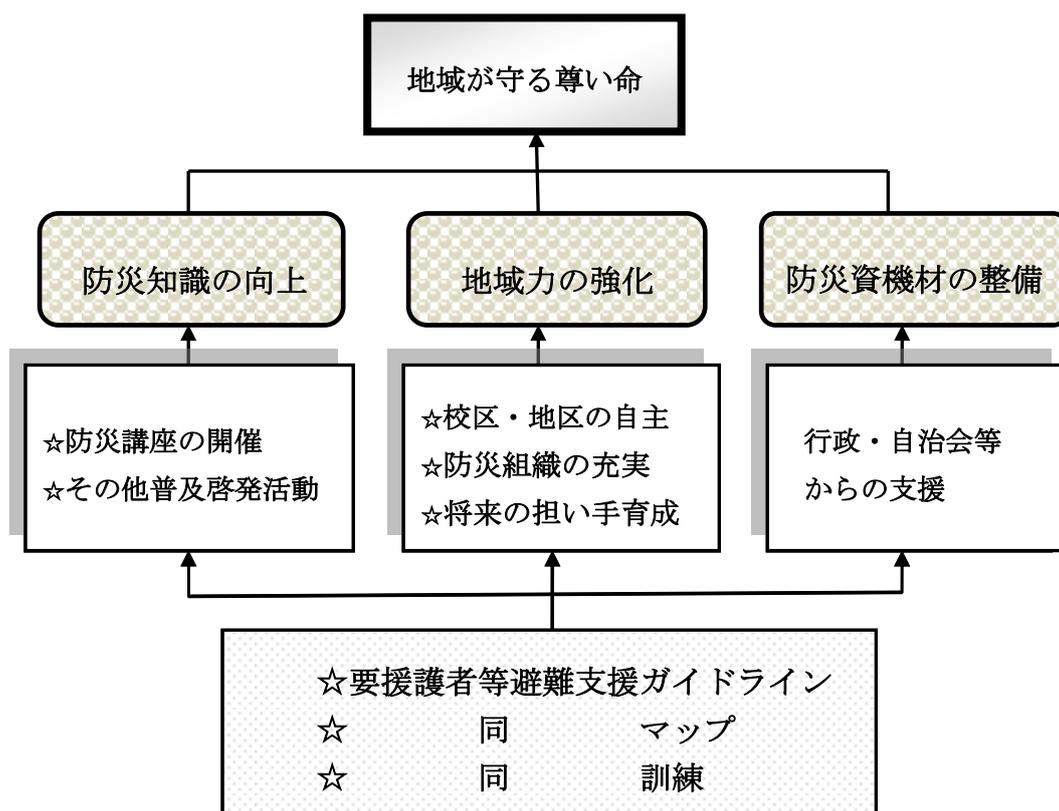
I. ガイドライン策定の目的

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災は、防災に関する日頃の取り組みや隣近所の人と人の親しい付き合いの中で地域の強い連帯感を生み、いざという時にその力が多くの尊い命を避難支援活動が救ったことを私達は学びました。

当校区の避難支援活動は、過去の教訓を生かし、地域の一人一人が防災の正しい認識を持ち、災害時にも沈着に行動できるよう、防災知識の普及と防災意識の高揚への支援を図るとともに、地域力の再構築と合わせて地域防災の担い手の養成と地域防災対策を総合的に推進していくことを目的として策定する。

防災施策体系図

《共に助け合い支え合うまちづくりをめざして》 — 問題解決型から未然防止型へ —



避難訓練のねらい
1. 防災意識を高める。
2. 地域自主防災組織の機動性を高める。
3. ガイドライン・マップの整合性を検証する。

地域自主防災組織
自治会・民生児童委員・地域福祉ボランティア・医療機関・消防・子ども会、地域商店会等事業者など

Ⅱ. 避難支援マップづくり等の基本方針

誰が見ても分かりやすく、いざという時に役立つ実用的なマップをつくる。

1. マップづくりの注意点

- ① マップづくりは「向う三軒両隣」でともに助け合い、支え合うという精神が必要であることから、各自治会の各班（隣保）等の小さなグループのみんなで作ることが望ましい。
- ② マップは、自治会の各班等小さなエリアのものと自治会区域全体のマップの2種類をつくる。
- ③ マップは、救出、避難活動がより安全で迅速に行うことができるよう、みんなで地域の実態調査を行い、確かな情報を表示したものにする。
- ④ マップには、災害時の要援護者名簿登録者（市情報）、自主防災組織役員、民生児童委員等の住居や避難所、医療機関、資機材の備蓄場所、危険箇所等の情報を表示する。
- ⑤ 要援護者名簿登録者等の住居の表示にあたっては、個人情報漏洩につながらないよう本人に事前了解を得るなど、細心の注意が必要である。
- ⑥ マップに表示された情報に変更があった場合は、速やかに手直しをする。

2. マップの掲載情報の提供方法

マップは、各家庭へ所属する班等のマップを配布し、自治会全体マップは、自治会公民館、掲示板等人の目につきやすい場所に掲示する。

*マップ作りの詳細は別紙「鳥羽校区福祉マップづくりの基本的な考え方」参照

Ⅲ. 避難訓練の基本方針

可能な限り現実に近い状態を想定した避難訓練を行う。

1. マニュアルの策定

マニュアルは、避難訓練の実施方法の他、防災意識の普及啓発、地域防災の担い手の養成等総合的要素を加えた事項を記載したものを策定する。

2. 避難訓練の実施

- ① 各種のケースを想定し、原則として毎年度1回程度、まちづくり協議会と各自治会が連携し、行政との協働により計画的に実施する。
- ② 各年度におけるマニュアルは、その都度、関係者の協議により策定する。

3. 避難訓練の検証

避難訓練終了後、実践に照らし合わせて、マニュアルやマップとの整合性等について検証し、その都度、これらの見直しを行い、次回の訓練計画・実施につなげていく。

IV. 防災知識の普及啓発と地域情報の共有化

まちづくり協議会や各自治会で、積極的に防災講座の開催やポスターの掲示等により、防災への正しい知識と防災意識の高揚を図っていく。

V. 自主防災組織づくりの推進

いざという時に、効果的に機能する地域防災組織体制の充実、強化を推進する。

1. まちづくり協議会自主防災組織

① 構成員

まちづくり協議会委員全員

② 役割

A) 平常時

- a) 校区防災計画（避難訓練、防災講座等防災知識の普及啓発活動）の策定
- b) 避難訓練の実施（自治会、行政等と連携）
- c) 防災講座の開催（自治会、行政等と連携）
- d) その他、防災知識の普及啓発、防災情報の収集、提供の実施（自治会と連携）
- e) 自治会、地域福祉市民会議野々池中学校区、医療機関等との連絡調整

B) 災害時

- a) 校区災害対策本部設置
- b) 校区避難所（鳥羽小学校等）の設置（行政等と連携）
- c) 行政、医療機関等災害関係機関との連絡調整
- d) 地区災害対策本部との連絡調整、各種避難支援

2. 自治会等自主防災組織

① 構成員

自治会役員、班長（隣保長）、民生児童委員、福祉関係者等

② 役割

A) 平常時

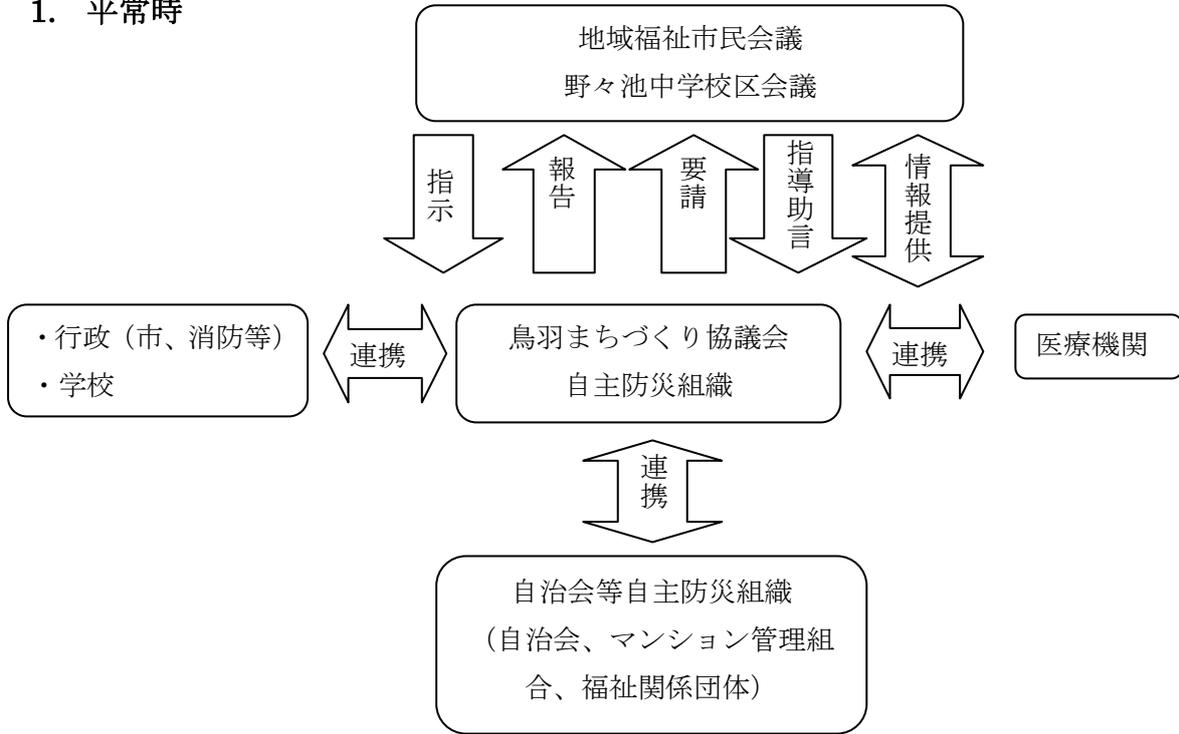
- a) 地区防災計画（避難訓練、防災講座等防災知識の普及啓発）の策定（まちづくり協議会と連携）
- b) 要援護者名簿づくり（行政と連携）
- c) 避難支援マップづくり
- d) 避難訓練の実施（まちづくり協議会と連携）
- e) 防災講座の開催（まちづくり協議会と連携）
- f) その他、防災知識の普及啓発、防災情報の収集、提供の実施（まちづくり協議会と連携）

B) 災害時

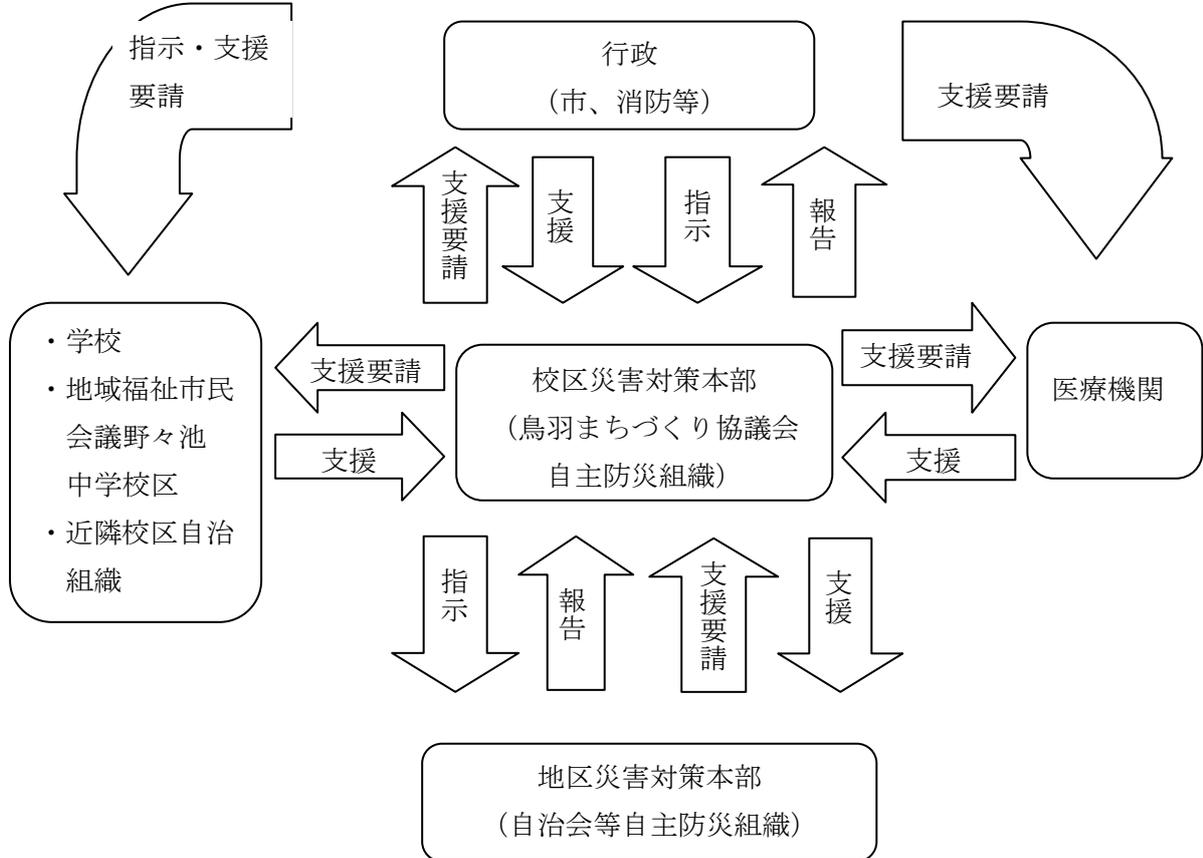
- a) 地区災害対策本部設置
- b) 地区避難所（地区内近隣公園等）の設置、運営（校区災害対策本部、行政等と連携）
- c) 救出活動、地区避難所（地区内近隣公園等）への誘導活動、安否確認
- d) 校区避難所（鳥羽小学校等）への誘導活動（校区災害対策本部、行政等と連携）
- e) その他、校区災害対策本部との連絡調整、各種避難支援

Ⅵ. 避難支援ネットワーク

1. 平常時

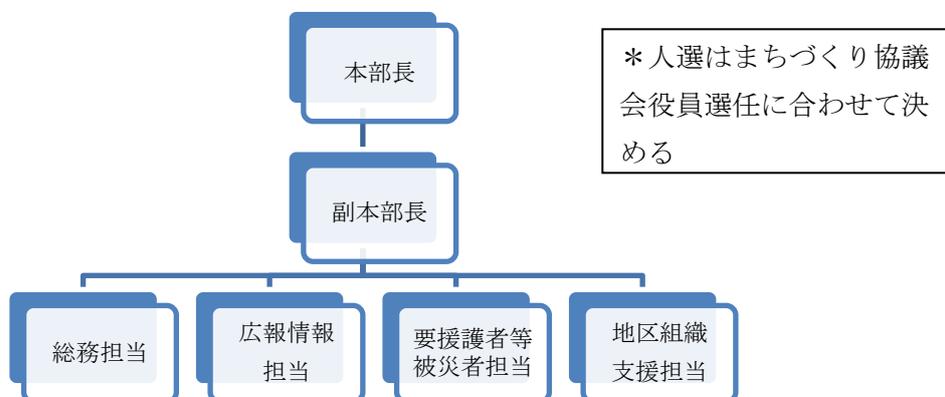


2. 災害時



Ⅶ. 自主防災組織図

1. まちづくり協議会自主防災組織（校区災害対策本部）



①各担当の役割

担 当 者	平 常 時	災 害 時
本 部 長	校区本部の総括	1. 校区本部の総括 2. 各担当の活動に対する指揮・監督
副 本 部 長	本部長の補佐	1. 本部長の補佐
総 務 担 当	1. 校区防災計画の立案 2. 組織内各担当間の総合調整 3. その他、行政、医療機関との連絡調整	1. 校区避難所の設置 2. 組織内各担当間の総合調整 3. 要援護者等被災者の市等への各種報告 4. その他、行政、医療機関等との連絡調整
広報・情報担当	1. 防災講座の開催 2. 防災知識の普及啓発 3. 防災情報の収集、提供	1. 災害情報の収集、地区災害対策本部への情報提供 2. 校区避難所の運営支援
要 援 護 者 等 被 災 者 担 当	1. 避難訓練の実施 2. 要援護者等に関する行政、地域福祉市民会議等との連絡調整 3. 資機材の保全・管理	1. 要援護者等被災者の安否とりまとめ 2. 要援護者等被災者の医療機関への搬送 3. 校区避難所での要援護者等被災者支援
地 区 組 織 支 援 担 当	1. 地区防災計画の策定支援 2. 地区避難訓練、マップづくり等への支援 3. 地区への防災情報の提供 4. その他、自治会等自主防災組織との連絡調整	1. 地区救護、避難誘導活動への支援 2. 地区消火活動への支援 3. 地区本部との連絡調整 4. その他、各種地区避難活動への支援

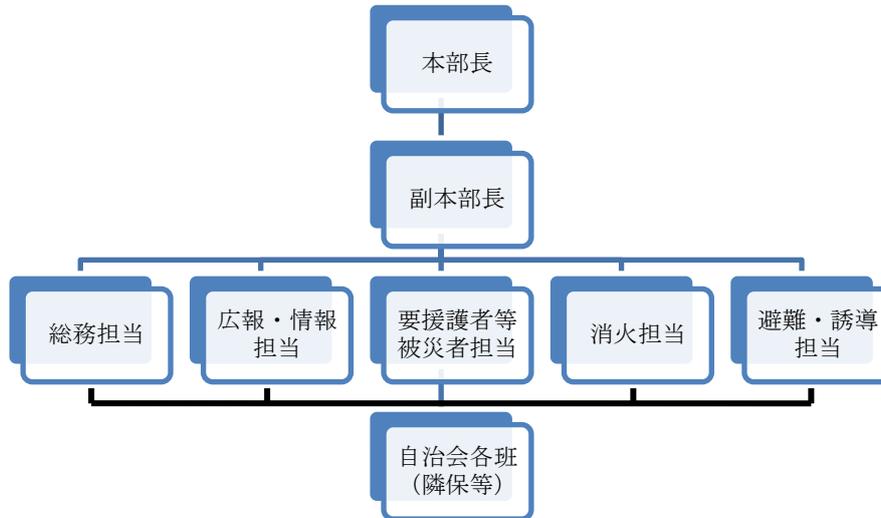
②要員（平常時）

部門	部門長	部員
本部長	岩佐肇	
副本部長	藤本正	
総務担当	吉田賢一郎 岸本高広(防災計画担当)	小林武彦・島守人・竹中康訓・谷原克己・山田祐次・藤井秀明・山田信彦・高橋格知・田中陽子・坂東文子
広報情報担当	平田隆	花房雅剛・小川明・谷口一彦・田中陵子・山本ひでみ・相原善子・赤松三代子・東久美子・藤本優子・西谷裕子・末崎順子・
要援護者等被災者担当	岡野繁信	鎌田日出男・濱名克幸・吉田敦子・川井幸雄・細田政春・小野勝弘・西山雅美・小林道代・
地区組織支援担当	岸本高広	村澤幹子・細田士郎・田邊靖久・佐野重生・藤本邦夫・柏木道夫・高木一男・山口泰寛・宮健吾

③要員（災害発生時）

部門	部門長	部員
本部長	岩佐肇	
副本部長	藤本正	
総務担当	吉田賢一郎	田中陽子・坂東文子
広報情報担当	山本ひでみ	相原善子・東久美子・藤本優子・西谷裕子・末崎順子
要援護者等被災者担当	岡野繁信	吉田敦子・川井幸雄・細田政春・小野勝弘・西山雅美・小林道代
地区組織支援担当	岸本高広	細田士郎・田邊靖久・佐野重生・藤本邦夫・柏木道夫・高木一男・山口泰寛・宮健吾

2. 自治会等自主防災組織（地区災害対策本部）＝例示＝



各担当の役割＝例示＝

担当者	平 常 時	災 害 時
本 部 長	地区本部の総括	1. 地区本部の総括 2. 各担当、班長の活動に対する指揮・監督
副 本 部 長	本部長の補佐	1. 本部長の補佐
総 務 担 当	1. 地区防災計画の策定 2. 要援護者名簿の作成 3. 組織内各担当間の総合調整 4. まち協防災組織との連絡調整	1. 地区避難所の設置・運営 2. 校区災害対策本部への各種報告 3. 校区本部との連絡調整 4. 組織内各担当間の総合調整
広 報 ・ 情 報 担 当	1. 防災講座の開催 2. 防災知識の普及啓発 3. 防災情報の収集、提供等 4. 防災無線設備の保安全管理	1. 災害発生に関する放送による地区内への情報提供 2. 災害情報の収集とその他地区内への情報提供
要 援 護 者 等 被 災 者 担 当	1. 避難支援マップづくり 2. 避難訓練の実施 3. 資機材の保全、管理	1. 要援護者等被災者の安否確認 2. 要援護者等被災者の医療機関へ搬送 3. 避難所での各種支援
消 火 担 当	1. 公民館の消火器、危険物点検 2. 家庭の消火器、危険物の点検等火災未然防止の普及啓発	1. 消火活動 2. 消防機関への通報 3. 各班（隣保等）の救出活動各種支援
避 難 誘 導 担 当	1. 危険箇所等避難誘導ルートの確認	1. 避難所への誘導支援 2. 各班（隣保等）の救出活動各種支援

